

# 「読み」のパターンに 疑問をもつ

―「高瀬舟」(三年)を中心に―

新しい指導を考える会

## 1 「自分の考えをもつ」こと

「少年の日の思い出」(一年)を読むと、次のような感想が多く寄せられる。

「エーミールは子どもらしくなくて、ちよっとイヤなヤツだ」と思う。自分の収集したものを全部あげると言っても許してもらえなかった主人公はかわいそうだ。」

「少年の日の思い出」に限らず、「走れメロス」(二年)や「故郷」(三年)などにおいても、誰もがはまってしまふ「読み」のパターンが決まっている。多くの生徒たちがはまってしまふこうした「読み」に対して疑問を投げかけることはできないだろうか？

「少年の日の思い出」の場合には、主人公の「僕」が語り手であり、しかも、大人になった現在でもエーミールのことを憎ん

でいる。それゆえに多くの生徒が先に示したような「読み」にはまってしまふ。「自分の考えをもつ」ということは、このような誰もがはまる「読み」に対して、「本当にそうなのだろうか」と自問できること、別の視点からの「読み」の可能性を考えることである。これはPISA型読解力という「熟考・評価」につながる力である。

今回の実践では「高瀬舟」を扱ってみた。「高瀬舟」は主人公喜助の独白が中心に書かれているため、喜助の考えに同情的な読みにはまることが予想される。そこで、この単元では、新しい学習指導要領「第3学年『C読むこと』ウ」にある「読み比べ」を実践してみた。「高瀬舟」に『ブラック・ジャック』(以下『BJ』と記す)をぶつけることで、生徒の「読み」に揺さぶりをかけようと考えたのである。『BJ』の中

## 2 単元「考えを深める」(全3時間)

(1) 育成を目指す言語能力・主たる評価規準

○ テキストと自分の考えを関連づけて表現する能力

国語への関心・意欲・態度	作品の主題に対する自分の考えを伝えようとしている。
読む能力	文章を読み、人間や社会について自分の考えをもっている。(工)
言語についての知識・理解・技能	抽象的な概念などを表す語句について理解を深めている。

(2) 題材 「高瀬舟」森鷗外

『ブラック・ジャック第3巻「ふたりの黒い医者」』手塚治虫(秋田書店)

(3) 単元の評価規準と指導計画

時	主たる規準およびAの状況を実現していると判断する際のキーワード	主たる学習活動
1	「高瀬舟」を読み、自分の感想をもっている。 Aの確な引用、自分の体験に基づいた感想、的確な主題のとらえ	① ガイダンスを聞き、単元における自分の目標を立てる。 ② 通読を聞き、初発の感想を書く。
2	「高瀬舟」と『BJ』の共通点を考えている。 A共通点の指摘、作品中の表現的確な引用	③ 『BJ』を読み、「高瀬舟」との共通点を考える。 ④ 共通点について意見交換をする。
3	立場を明らかにして自分の考えを書いている。 A的確な根拠の引用、意見交流を生かした記述、二つの立場からの考察、考察の深まり	⑤ 「高瀬舟」について自分の考えを、「喜助への手紙」として書く。

資料1

下記資料1は、「高瀬舟」と『BJ』を讀み比べたあとの第3時に生徒が書いた「喜助への手紙」である。喜助に対して同情の念を寄せながらも、命というものに対する自分の考えを伝えようとしていることが伝わってくる。

## 3 まとめ

この単元はPISA型読解力を意識して実践したものである。文学教材を扱っていくときには、「読む」→「考える」→「表現する」という読解のプロセスを意識するとともに、作品全体をふまえた課題設定が必要であると考えている。

喜助さんへ  
突然のお手紙、お許しください。

私は、「高瀬舟」を読んで初めて喜助さんを知りました。そして、私が喜助さんに思ったことが二つあります。

一つ目に、その時の喜助さんの感情です。(？)存知ないと思います。『ブラック・ジャック』という漫画にキリコという人物が出てきます。その人は、お金をもらって人を安楽死させている人物です。実質、喜助さんとキリコは同じことをしていました。しかし、二人は全く違うと私は思います。キリコはお金をもらい、自分のために人を殺します。でも、喜助さんは大切な弟さんのために罪を犯

しました。「人殺しなのは変わら

ない。」そう言う人もいると思います。いえ、実際は違います。しかし、私はそうは思いません。愛情が含まれているものと、自分の欲としては全く違うと思うのです。

二つ目に、弟さんの状態です。自分で喉を切り、自殺しようとした弟さんの気持ちもよく分かっています。お兄さんの喜助さんに、迷惑をかけたくなかったのです。でも、そのことがきっかけで、喜助さんは島流しになりました。もし、弟さんが喉を切らなかつたら、喉を切ったとしても、喜助さんが医者を呼んできていたら、何か変わっていたかもしれません。喜助さんに余裕のあるお金がない

のも充分わかっています。しかし、

それでも、私は医者を呼んでいたら、と考えました。奇跡が起きて、弟さんが回復するかもしれません。そう思うと、少し残念です。たまたま大切な弟さんの頼みでも、ちよっとおきらめなないで、粘ってほしかったのです。

一つ目と二つ目、少し矛盾してしまいましたが、しかし、結論的に言つと、「喜助さんの愛情は兄として正しかった。けれども、命は一つのものなので、簡単には消してはいけないことを分かってほしい。」と書いています。気を悪くしたら、「ごめんなきい。いつまでも弟さんのことを忘れな